



年 組 名前

# 道新ワークシート

## 工場のCO<sub>2</sub>からメタン

### 室蘭市、民間と生成研究

【室蘭】室蘭市と日本製鋼所M&E（室蘭）、デロイトトーマツコンサルティング（東京）は21日、室蘭市内の工場などから出る二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）と水素を化学反応させ、天然ガスの主成分であるメタンを生成する「メタネーション」の研究に着手すると発表した。工業都市・室蘭で排出されるCO<sub>2</sub>の削減と水素利用を同時に進め、脱炭素社会の実現に向けたモデルを構築する。

と、再生可能エネルギーの余剰電力で水を電気分解して取り出す水素を使う。生成するメタンについては、合成する量や地域での利用見通し、市内製造業での活用量などの試算も行う。

政府が昨年6月に策定した「グリーン成長戦略」はメタネーションについて、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルに向けた重要技術と位置付けている。日鋼M&Eは「鉄鋼業の脱炭素化には非常に高いハードルがあるが、この事業を実現へのきっかけとしたい」としている。（久保耕平）

2022年6月22日（水）朝刊 全道版 13ページ（記事は再編集しています）

①メタネーションとは何ですか。

②脱炭素社会の実現のために、あなたなら、このメタネーションをどのように活用しますか。インターネットなどで調べてみましょう。